

調査・研究センターとしての図書館



岡山県立図書館（岡山県岡山市） <http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	岡山市北区丸の内2-6-30
電話番号	086-224-1286
人口（図書館が所在する市町村）	1,946,083人
職員数（うち有資格者数）	40人（25人）
蔵書数	1,144,629冊
登録者数	202,926人
年間貸出冊数（H24）	1,458,112冊

目的・趣旨

専門的職員と資料を備える主題別6部門のサービス体制により、多様化・専門化していく県民の知的ニーズに応えられる調査・研究援助機能の充実を図るとともに県民や地域の課題解決を支援する。

取組概要

平成16年9月の新県立図書館開館よりサービス目標の1つとして「調査・研究センターとしての図書館」を掲げている。

- 主題別6部門制による調査・研究支援
図書館の閲覧室を主題別の6エリアに分けて、専任職員を配置し、選書からレファレンス、二次資料作成、企画展示、講座開催などサービス体制を充実。
- 課題解決支援機能の充実
部門の専門性を生かし、公共機関・企業・大学等と連携・協力しながら、「ビジネス支援」「子育て・教育活動支援」「法情報・行政情報等の提供」等に取り組む。
- デジタル岡山大百科の充実
「図書館横断検索システム」「郷土情報ネットワーク」「レファレンスデータベース」の3機能を有する電子図書館システムにより情報の受発信を行いコンテンツやレファレンス事例を充実。

特徴

- 来館者アンケートにみる当館の特徴
その1 来館理由の1位「資料が多い」2位「施設が快適」
その2 目標達成度「達成できた」「だいたい達成できた」が9割
その3 「職員の対応」9割が満足・どちらかといえば満足
⇒新刊図書の70%程度の収集を目標に掲げ、主題別の専任職員によるレファレンスなどにより高い評価を受け、開館以来8年連続で来館者数と個人貸出数は都道府県立図書館1位を続けている。
- 6部門の専門性を生かした取り組み例
 - ・ 6部門が毎月複数箇所で開催（年間100回以上）
 - ・ 課題解決支援と図書館利用促進のため6部門が県民対象のとことん活用講座等を企画・開催（年間12回）
 - ・ 商工会議所や司法書士協議会等と連携し創業相談会や司法書士無料相談会等を開催（年間30回以上）
- 県民参加型、地域連携による郷土情報コンテンツの収集例
 - ・ 県内小中学校の校歌を募集、公開
 - ・ 池田家文庫資料等大学図書館等の研究成果を登録、公開



30万冊を配する開架閲覧室



郷土資料部門
県立記録資料館連携展示

取組の成果と今後について

質の高い調査・研究支援により、レファレンス受付件数は都道府県立図書館全国3位（平成24年度実績60,049件）で、一般利用者とともに、公共図書館等からの協力レファレンスも増加しており、地域の調査・研究センターとしての機能を果たしていると感じている。引き続き、職員のスキルアップと資料の充実を図り、調査・研究機能の一層の拡充を図りたい。